



みどりいろ み いけ みず かんさつ なに うご なん
緑色に見える池の水を観察したら、何かが動いたけど、何なの

みず なか い もの
水の中は、生き物でいっぱい

いけ かわ みず みどりいろ み すいめん ひろ すいちゅう
 池や川の水が、緑色に見えるのは、ウキクサが水面に広がっていたり、水中に、さまざま
 なる「も」などがふえていたりするためです。こんな川は、水のながれがゆるやかで、水の中
 にえいようぶんが、多い川です。そのため、目に見えないほど小さな、プランクトンとよばれる生
 きもの、これらをえさにするかい すいせい ちゅう さかな
 き物や、これらをえさにする貝や、エビ、水生こん虫、魚などもたくさんいます。

ちい い もの
小さな生き物「プランクトン」

みどりいろ み いけ みず い お こま した
 緑色に見えた池の水を、コップなどに入れて置いておくと、細かいどろなどが下にしず
 みます。上のすんだ水を、白い小皿などにとりよく見ると、とう明な何かが動いているのが、
 み うえ みず しろ こざら み めい なに うご
 見ることがあります。この水を、顕微鏡でのぞくと、動き回るミジンコや、ワムシ、うす
 い みどりいろ さんかく しかく かたち ほそなが まる あつ
 い緑色で、三角や四角の形をしたケイソウ、細長いミカツキモ、丸く集まったボルボック
 スなどの、プランクトンが見つかります。

ミジンコやワムシは動物性プランクトン、
 みどりいろ とうぶつせい
 緑色のケイソウなどは植物性プランクトンと
 しよくぶつせい りくじょう
 よばれます。植物性プランクトンは、陸上の
 しよくぶつ おな い たいない ようりよくそ につ
 植物と同じように、体内に葉緑素をもち、日
 こう たす みず にさんかたんそ どうぶん
 光の助けで、水と二酸化炭素から糖分やでん
 ぷんなどのえいようぶんをつく じぶん えい
 養分を作れぬ動物性プランクトンは、植物
 ようぶん つく どうぶつせい しよくぶつ
 性プランクトンをえさにしています。

(監修・安部 義孝)

